

さとしゅう

議会だより

No.94
2018.10.31



岡山県 里庄町議会



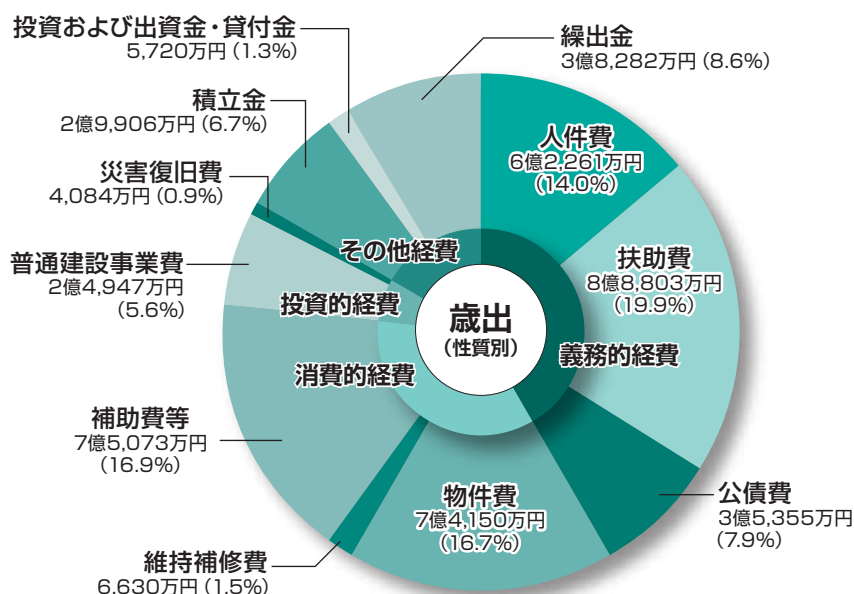
勇壮に『千歳楽』練り歩き

- 平成29年度決算すべて認定 (3)
- 災害関係予算1億2000万円(臨時会)、対策費に追加979万円(補正) … (7～10)
- 陳情2件を採択、国へ意見書を提出 (11)
- 町政を問う！ (6人が登壇) (13)
- シリーズ“地域の子どもたち”(ハツ的子供会) (20)

多数で認定 認定

賛成 6 : 3 反対

歳出総額 44億5,211万円



ここが反対！ キャンプ場は無駄

岡本雅道議員

マコモタケで跡地利用は、たったの8日間。

キャンプ場に300万円の投資で27万円の収益。無駄ではないか。

駅前の整備計画は、今すべきでない。

一般会計で2億数千万が不用額で上がってくるのが問題である。

農協の生産部会への補助金。ある部会で、苗や肥料を買っているのは、おかしい。

養成した防災士の活動内容が見えてこない。

9月

定例会

平成30年第4回定例会は、9月3日から14日までの会期で行われました。議案は平成29年度会計決算の認定9件、平成30年度の補正予算8件、条例の一部改正1件、人事案件2件、報告2件、陳情2件、議員からの発議2件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

29年度
決算

一般会計は賛成

その他会計は全会一致で

ここが賛成！

歳出削減に努力

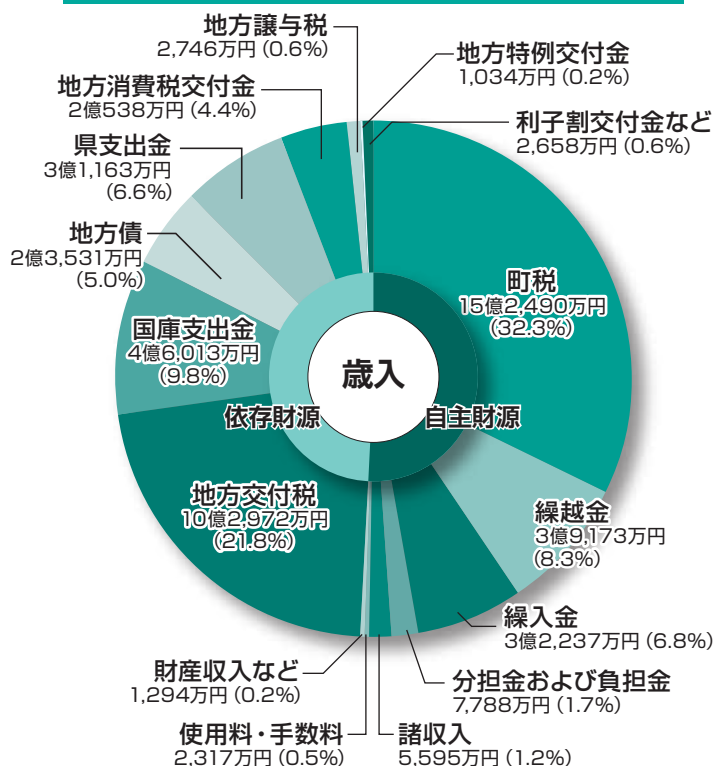
小野光章議員

定住促進につながる施策の実施や産後ケアによる母子健康事業の充実が図られたほか、浜中バイパス事業の促進や分館要望の修繕や改良も遂行されるなど、重点施策を中心に限られた財源で事業が実施されている。

また、歳出削減に努力した結果、財政調整基金積立と開発基金積立金も前年度より増加している。

歳入歳出予算は適正に執行され、確実に行政効果は上がっている。

歳入総額 47億1,549万円



ここが反対！

次年度に生かされない

高田卓司議員

毎年の決算時の指摘が次年度に生かされない。

財政調整基金8400万円も取り崩しながら2億5000万円もの残高が生じた。

できるかどうか分からない駅前広場等整備基本構想作成に700万円以上のお金をかけた。

補正予算以上に不用額を出している。
以上の理由で不認定にすべき。

ここが反対！

ずさんな使い方

佐藤耕三議員

昨年の予算委員会でマコモタケの関係で、JA給油所跡地利用の強い要望を受けた。家賃等で39万円も使い、前年度は整備費等で190万円使ったにもかかわらず、販売に利用した日数はわずか8日間、準備期間を入れても1カ月しか使われていない。

余りにもずさんな使い方。

平成29年度の 主な事業内容

- ・定住フェアへ参加(7月、3月)
- ・県移住体感ツアー受入
- ・結婚相談支援センターの運営と井笠管内の自治体と共同カップリングパーティー(2回)
- ・町内の工場見学、ものづくり体験を組み合わせたバスツアーを実施(21組64人参加)
- ・まこもたけ料理教室、まこもたけ販路開拓支援、リーフレット作成ほか
- ・住民票などのコンビニ交付事業を実施
- ・防犯灯整備やガードレール、カーブミラーの設置、外側線
- ・町主催の敬老会を実施、老人クラブへの支援
- ・高齢者タクシー料金の助成券の交付(128件)
- ・放課後や長期休業中の学童保育事業
(東小学校52人、西小学校108人)
- ・降園後や長期休業中の幼稚園預かり保育事業
(東幼稚園18人、西幼稚園19人)
- ・中学校3年生までの医療費を負担
(0才から15歳まで、述べ1662人)
- ・障害児相談支援、児童発達支援、放課後等デイサービスの実施
- ・延長保育(閉園時間を午後7時まで延長)の実施
- ・各種検診(特定健診、後期高齢者健診、肝炎ウイルス検診、各種がん検診、ピロリ菌検診、腹部超音波検診、骨粗しょう症検診等)
- ・予防接種(4種・2種混合、日本脳炎、麻疹風しん、インフルエンザ、ヒブ、肺炎球菌等)
- ・乳幼児健診、健康教育、健康診査、健康相談、保育指導・訪問指導等の実施
- ・不妊治療助成と未熟児養育医療の実施
- ・ごみ減量化とリサイクル推進を目的に資源ごみ収集庫を3箇所設置
- ・湯ノ池のため池ハザードマップを作成
- ・地籍調査は、0.58km²の現地調査等を実施
(岩村・津江、大原東・明地・古井・殿迫地区の一部)
- ・道路の維持補修(23箇所)、狭あい道路の整備(13箇所)、道路の改良工事(6路線)
- ・橋梁点検等(31橋)
- ・自主防災組織の設立資機材整備補助金と活動補助金を交付
- ・東・西小学校、中学校に各1名の外国人英語指導助手を配置



着々と進む地籍調査

町の借金と貯金(平成29年度の状況)

平成29年度起債額(借金)		平成29年度末起債残高※		平成29年度末起債残高※	
一般会計	3億5991万円	一般会計	69億1811万円	一般会計	69億1811万円
2億3531万円		水道事業会計	33億2559万円	水道事業会計	33億2559万円
1億2460万円		下水道事業会計	8904万円	下水道事業会計	8904万円
		下水道事業会計	35億348万円	下水道事業会計	35億348万円
平成29年度公債費(元金償還金)		平成29年度公債費(元金償還金)		平成29年度公債費(元金償還金)	
4億9521万円		一般会計	3億1918万円	一般会計	3億1918万円
		水道事業会計	2554万円	水道事業会計	2554万円
		下水道事業会計	1億5049万円	下水道事業会計	1億5049万円
		文化振興基金	4億3104万円	文化振興基金	4億3104万円
		スポーツ振興基金	1億100万円	スポーツ振興基金	1億100万円
		教育施設整備改修基金	1億2049万円	教育施設整備改修基金	1億2049万円
		土地開発基金	1億302万円	土地開発基金	1億302万円
		環境整美基金	5039万円	環境整美基金	5039万円
		古山基金	1008万円	古山基金	1008万円
		財政調整基金	6億8617万円	財政調整基金	6億8617万円
		いきいき里庄基金	1億円	いきいき里庄基金	1億円
		地域振興基金	5847万円	地域振興基金	5847万円
		開発基金	4億2662万円	開発基金	4億2662万円
		減債基金	1億3197万円	減債基金	1億3197万円
		ふるさと保全基金	6600万円	ふるさと保全基金	6600万円

※元金償還金のうち、概算41億円が地方交付税に算入される見込み。

端数処理をしているため、合計額が一致しない場合がある。

平成29年度

決算

平成29年度決算の総括質疑は、3人が行いました。その後予算決算委員会に付託され、審査を行いました。

総括質疑

健全性の維持は

眞野議員 ①単年度収支額・実質単年度収支額はいくらか。

年度内の財源で全ての行政サービスができたのか。

②基金の取り崩しの、長期的な考えは。

③町債の状況は。

公共下水道事業の借金をどのように考えているのか。

④町所有の土地について売却を含めた利活用の考えは。

⑤国保会計の安定的な運営を行うための施策は。

⑥介護老人保健施設は町営から民間管理。利用者が満足できるサービスを提供できているか。

⑦健全化判断比率・資金不足比率は、過去に比べ悪化しているのか。

水道事業会計・公共下水道事業会計の資金不足比率の前年度との比較は。

⑧義務的経費の増加は避けられないが、健全性を維持していくための歳出の見直しは。

総務課長

①単年度収支

額はマイナス7808万円・実質単年度収支額は100万円。

黒字ということで、できた認識している。

②長期的な財政計画は作成していないが、5年間の中期的な計画として、財政運営適正化計画を作成している。基金を取り崩さずに柔軟に財政運営を行っていくことは、難しいが、中・長期的な視

点が重要と考えている。

③昨年度と比較して、1億3530万円の減となる。

公共下水道事業費の縮小することで起債残高の抑制に努める。

④玉笠道路関連と、企業誘致で払い下げを行った。今後売却できるところは、売却する。

⑥安全で利用者の立場に立ったサービスが提供できている。

アンケート調査では、入所者、家族から高い評価を受けている。

⑦実質赤字比率2・82%悪化。

連結実質赤字比率0・98%改善。

実質公債費比率0・3%悪化。

将来負担比率3・2%改善。

水道事業会計の資金不足比率7・3%改善。

公共下水道事業会計の資金不足比率49・4%改善。

町民課長 ⑤ジェネリックス医薬品差額通知により、医療費の適正化に努めて

いる。

健康福祉課長 ⑤健康に対する意識を高め、特定

検診の受診率の向上に努めている。

町長 ⑦起債残高が減った為、将来負担比率は若干改善した。基金の積み立てに取り組んでいきたい。

⑧歳入は、税率の確保、企業誘致等で、新しい財源を確保したい。

歳出の経常経費を抑え、補助金等を見直す。



伝統を守るやっこ連(本村地区)

ふるさと納税は

仁科英議員 ①町の貯金総額と借金総額は。前年と比べてどうなっているか。

②ふるさと納税の総額と支出は。

総務課長 ①基金残高27億4452万円、借金は

28億1354万円で6901万円の赤字。この額は前年度と比較し1億7699万円改善。
町民課参事 ②総額524万円。経費234万円、減収86万円となり204万円の収入。

育英奨学金は

高田議員 ①育英奨学金

給与特別会計は資金不足で休止状態。今までのどのような活動をしたのか。

②今後も活動しないのか。
町長 ①活動はしていない。

②現状をよく見て、この会計を残していくのか、今後検討したい。要望があれば、活動を開始する。

予算決算委員会

慎重に審査、全てを原案可決認定

予算決算委員会では、平成30年度補正予算8議案と平成29年度決算の認定9議案を関係当局の説明を求め慎重に審査しました。
平成30年度補正予算は、すべて全会一致で原案可決となりました。
平成29年度決算の認定は、一般会計が賛成多数で、その他の特別会計・企業会計予算は全会一致で認定しました。



芋掘り体験(東小)

平成29年度 会計別決算状況

会計区分		歳入	歳出	差引
一般会計		47億1506万円	44億5366万円	2億6140万円
特別会計	国民健康保険	14億2744万円	12億6221万円	1億6523万円
	育英奨学資金給与	25万円	0万円	25万円
	介護老人保健施設	3995万円	3655万円	340万円
	介護保険	9億9001万円	9億7871万円	1130万円
	後期高齢者医療	1億5460万円	1億4759万円	701万円
町営墓地		445万円	272万円	173万円
公営企業会計		収入	支出	差引
水道事業	収益的	2億8111万円	2億5320万円	2791万円
	資本的	2118万円	6669万円	△4551万円
公共下水道事業	収益的	3億5043万円	3億12万円	5031万円
	資本的	3億2206万円	4億5735万円	△1億3529万円

平成30年度

補正

平成30年度一般会計補正予算を初めとする8件の補正予算が上程され、予算決算委員会に付託され、審議を行いました。

一般会計の主な事業

防犯カメラの設置

49万円

里庄駅の出入り口付近に設置し、非行少年等の迷惑行為を抑止するとともに、地域の防犯力の強化を図ります。

災害対策費に追加

979万円

7月豪雨および台風12号対応の職員の勤務手当、避難所開設に伴う消耗品費や食料費と災害救助法の適用を受けた住宅応急修理費・災害弔慰金です。

乳幼児専用コーナーを設置

82万円

親子が喜んで、本と親しめ、安心して利用できる場所を作るため図書館の一部を改装し、専用コーナーを設置します。

西小児童クラブ教室設計

453万円

西小児童クラブ利用者の増加が見込まれるため、児童校舎新設のための調査・設計委託料です。

西小学校施設改修

810万円

設計・施工管理委託、教室改修工事、他にブロック塀の危険箇所耐震補強工事に対処します。



手狭になった児童クラブ教室(西小)

9月補正の結果

会 計 名	補正後の金額	(補正額)
一 般 会 計	44億6221万円	(2億1388万円)
国民健康保険特別	13億3593万円	(1億6154万円)
介護老人保健施設特別	4440万円	(1302万円)
介護保険特別	10億4307万円	(908万円)
後期高齢者医療特別	1億6424万円	(288万円)
町営墓地特別会計	448万円	(5万円)
水道事業会計		
収益的収入	2億7876万円	(△20万円)
収益的支出	2億5998万円	(△443万円)
資本的支出	1億2560万円	(2万円)
公共下水道事業会計		
収益的収入	3億5596万円	(204万円)
収益的支出	3億2173万円	(204万円)
資本的収入	3億6515万円	(24万円)
資本的支出	5億2221万円	(24万円)

質疑

設置の経緯は

岡本議員 防犯カメラ設置の経緯は。要望があり、警察と協議しながら検討した。

企画商工課長 青少年の迷惑行為が増え始め駅前分館長からカメラの設置

工事内容は

岡村議員 ①西児童クラブ教室の工事内容は。の災害弔慰金を支給するもの。

②災害弔慰金500万円の内容は。 費用負担は、国が2分の1、県と町が各4分の1。

教委事務局長 ①基本的には木造の新築を考えている。現段階では決まっていけない。これから設計して、予算も含めて検討する。

総務課長 ②今回7月豪雨により被災された方へ

交付税の対象か

佐藤議員 西小学校のブロックの耐震120万円は交付税の対象なのか。が対象のため該当しない。

指定寄付金はどこから

高田議員 ①指定寄付金の300万円はどこからどのような寄附か。警察や地元分館長、JR駅長とも協議の上で決定する。

②防犯カメラは駅前のどこへどういう形でつけるのか。 教委事務局長 ③西小学校のC棟東側ブロック塀は、今回補正予算を上げた。ほかのところは、30年度予算で執行をする。その差と考える。

③西小学校の工事費は、全協のときの説明では、ブロック塀2カ所で200万、特別教室約600万で800万必要と思っ

たが、補正は710万。金額が違うが、なぜか。

総務課長 ①7月豪雨災害指定寄附金で災害復旧費に充てるための寄附。

企画商工課長 ②駅舎西側の植え込みのあたりと

県負担金趣旨は

仁科英議員 ①消防費県負担金は消防費と、農林災害公共土木の財源に当たっている。必要経費。

②避難所運営等の費用全額。③見舞金の制度はあるが該当者がいない。

④災害指定寄附金で町が募っている。義援金は岡山県の日赤がまとめて、町へ分配する。それを健康福祉課で分配する準備をしている。

⑤ヒアリング時に強く要求している。④災害寄附金は誰からの寄附か。これを見舞金にできないか。

義援金を充てることはできないのか。⑤ブロック塀の耐震工事費、120万でも、特別交付税で強く要求をすべきでは。

総務課長 ①災害救助費負担金ということで、土砂撤去が5件で約600万。避難所設置の経費約140万、食料費、住宅の応急処理1件50万円の

健康福祉課長 ⑤県から義援金をもらっていて、被災された人に今、義援金を交付する段取りをしている。対象者には郵便で書類を送り交付する。

教育委員会教育長の任命

適任者は町内で

仁科英議員 ①町内で適任者を探したのか。

町内の方が良いという考え方はないのか。

②法令遵守の意識は十分高いと言えるか。

開かれた教育行政、情報公開の意識は十分高いと言えるか。

議会と、柔軟に議論しているか。

③学校での問題についての状況把握と、それから指導等は適切であったのか。

④町長は任命権者、きちんと指導することが可能か。

町長 ①町内で探していない。資質と能力が十分あると判断し、引き続きお願いしたいと考えている。

②法令遵守の意識は高い。情報は必要に応じて公開をしている。議会軽視をしているとは、私は感じていない。報告が遅れたことはあった。任命権者である町長の責任であると思う。

③現場の状況をよく理解している。総合的に評価をして、里庄町の教育行政に欠かすことのできない人。

④里庄町の教育行政推進のために、教育長、教育委員会とも相談しながら、現場をよく確認して、適切に進めていきたい。

平成29年度教育委員会事務の点検および評価に関する報告

報告がなぜなかったのか

仁科英議員 ①報告が23年から28年あるいは29年度までなぜなかったのか。

②仁科財団のことについては全く書かれてない。

③歴史民俗資料館、虚空蔵大学、カレッジクラブ等について説明できないか。

④辛口の意見も聞いて、問題点、課題を整理した

らどうか。

教育長 ①私が把握してなく、職員に指示を出せなかったことが原因。

②基本的には別の独立した団体のため。

各種団体の記入を、必要があるかないかも含め検討していきたい。

④来年度は考えたい。

先生の長時間労働は

佐藤議員 ①先生が部活などで長時間の労働になっていないのか。

②小中学校の時期に大切なのは一人一人の育成。どのような形で実力テストに臨んでいるのか。

教育長 ①超過労働に対しては、先生同士で、お互いに声をかけ合い協力をしていく。

少しずつではあるが、残業する時間は少なくなってきた。

人事

教育委員会教育長

矢掛町小田

杉本 秀樹氏

教育委員会委員

里庄町里見

堀 朝子氏



あっ、なにかある！大発見かも！

臨時会

平成30年第3回臨時会は、8月20日に行われました。議案は、専決処分5件、条例一部改正1件、監査委員の選任1件が上程され、専決処分は4件が承認、1件が不承認、条例一部改正および監査委員の選任は、全会一致で可決・同意しました。

専決処分

一般会計補正

災害復旧費

3500万円

7月に発生した豪雨の被災箇所を、早急に復旧するための、測量設計費および応急工事を行うための経費。

条例の一部改正

介護保険料に係る徴収猶予

災害により住宅、家財に著しい被害を受けた場合により、一時的に保険料を納付することができないと認める場合の徴収猶予制度を設けました。

町民税と固定資産税の減免

平成30年7月豪雨による災害被害者に対し、平成30年度分の町民税と固定資産税の減免制度を設けました。

国民健康保険税の減免

平成30年7月豪雨による災害被害者に対し、税制面の支援を図るため減免制度を設けました。

介護保険料の減免

平成30年7月豪雨の災害被害者に対し、平成30年度分の介護保険料の減免内容の充実を図るものです。

質疑

今後も継続するのか

仁科英議員 7月豪雨の災害被害の支援のための制度を設けるといいますが、今後も継続して適用するのか。

著しい損害、減少とはどの程度を想定しているのか。

町民課参事 この条文は、

もともとあるべきものがなかった。今回の災害にかかわらず、ずっと使う。災害の、減免の条例に合わせて判断していく。介護保険料は、減免の規

定があり、それに準じる。国の準則に準じて定められている。改める点があれば、改めて恒久的な減免の条例を整備したい。

一般会計補正

災害復旧費

8200万円

7月に発生した豪雨の被災箇所を復旧するため工事請負費として、8200万円の予算が追加で

計上されました。

平成30年第5回臨時会は、10月19日に行われました。議案は一般会計補正予算1件が上程され、全会一致で可決しました。

8月20日の臨時会で専決処分の報告を受けた災害復旧関係費3500万円と当初の予算額300万円を合わせると1億2000万円の予算となりました。

人事

監査委員の選任

里庄町新庄

平野 次朗氏

一陳情

「臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書」は採択

審査結果(建設福祉委員会)

付託された陳情書は、9月6日の委員会において慎重に審査を行った結果、全会一致で採択すべきものと決しました。

本会議採決結果

9月14日の本会議において、全会一致で採択し、国への意見書を可決しました。

発議

国に意見書を提出

国民の臓器を提供する権利、提供しない権利、移植を受ける権利、受けない権利を同等に尊重しつつ、臓器移植を国民にとって安全で身近なものとして定着させる次の事項に取り組むよう強く要望する。

①臓器移植にかかる意思表示について具体的に考え、家族などと話し合う機会を増やすことが出来るよう更なる啓発に努めること。

②臓器提供施設における院内体制の整備を図るため施設の事情に応じたきめ細かい支援を行うこと。

③ドナーの家族に対してきめ細かな対応が可能となるよう移植コーディネーターの確保を支援すること。

④臓器移植施設の担当医の負担軽減対策を講ずること。

⑤国民が臓器移植ネットワークの構築されていない国で移植を受けることのないよう必要な対策を講ずること。

2018年9月14日

里庄町議会

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択を求める陳情は採択

審査結果(総務文教委員会)

付託された陳情書は、9月6日の委員会において慎重に審査を行った結果、全会一致で採択すべきものと決しました。

本会議採決結果

9月14日の本会議において、全会一致で採択し、国への意見書を可決しました。

発議

国に意見書を提出

地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるようにするために次の措置を講じられるよう強く要望する。

①教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。

②教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

2018年9月14日

里庄町議会

賛否表

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

賛否表

議案名		議員名									議決結果
8月臨時会	議案第41号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第42号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第43号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第44号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第45号	専決処分の承認を求めることについて	×	×	×	×	×	×	×	×	不承認
	議案第46号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
9月定例会	議案第47号	平成30年7月豪雨による災害被害者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部改正について	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第48号	里庄町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第49号	地方活力向上地域特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第50号	平成30年度里庄町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第51号	平成30年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第52号	平成30年度里庄町介護老人保健施設特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第53号	平成30年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第54号	平成30年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第55号	平成30年度里庄町営墓地特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第56号	平成30年度里庄町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第57号	平成30年度里庄町公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第58号	平成29年度里庄町一般会計決算の認定について	×	×	○	○	○	○	○	×	認定
	議案第59号	平成29年度里庄町国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第60号	平成29年度里庄町介護老人保健施設特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第61号	平成29年度里庄町育英奨学資金給与特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第62号	平成29年度里庄町介護保険特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第63号	平成29年度里庄町後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第64号	平成29年度里庄町営墓地特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第65号	平成29年度里庄町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第66号	平成29年度里庄町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第67号	教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第68号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	陳情第 1号	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	陳情第 2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	発議第 1号	臓器移植の環境整備を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	発議第 2号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

(注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

6人の議員が登壇して質問!

岡村 咲津紀 議員.....14P

- ① 8050問題の対策

仁科 英麿 議員.....15P

- ① サギの葉書に対する対処方法
- ② 7月豪雨災害からの教訓
- ③ 町内特定工場の緑地確保比率の緩和

岡本 雅道 議員.....16P

- ① 里見川荘の委託契約と委託料の支払い
- ② ため池の保全管理計画の進捗状況

高田 卓司 議員.....17P

- ① ため池の改修を考えてはどうか

佐藤 耕三 議員.....18P

- ① 外国人英語指導者の派遣委託事業
- ② 仁科財団中学生派遣事業
- ③ 町の防災対策

仁科 千鶴子 議員.....18P

- ① 町内における安全点検および対応
- ② 通学路の安全確保・草刈り
- ③ 町立図書館内乳幼児室新設

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

9月定例会

一般
質問

町
政
を
問
う

8050問題

健康福祉課長／現状と課題や実態把握を行う



岡村咲津紀 議員

て実態把握を行い、分析も行う予定である。

問

1990年代にひきこもりが社会問題となり30年が経過した。当時10代から20代だった人たちが40代から50代になり、親の世代が70代から80代と高齢化し、深刻な問題となっている。中高年のひきこもりは、社会とのつながりが薄く、家族だけで課題を抱え込みがちで、行政や医療機関などの支援を受けられないまま孤立するケースが少なくない。

見逃せないのが、支える側となってきた親の高齢化である。80代の親が50代の子どもの面倒を見る、いわゆる8050問題という言葉が生まれるほど事態は深刻さを増している。親亡き後、本人をどう支えるかが課題となっており、ひきこもりは長期化するほど解決が難しくなると言われている。

どのような支援が求められるのか、長期化を防ぐためにはどうすればいいのか、きめ細かく効果的な対策につなげる上で、実態調査の意義は大きい。これまでに、町は実態調査を実施したのか。

対策をしていくのか。

健康福祉課長

ひきこもりの実態調査は、平成26年度に民生委員さんの協力で行った。

近年は高齢により要介護状態となった親への支援などで把握するケースもある。現在、健康福祉課で把握しているケースは15件である。

町の支援策は、訪問活動とした個別支援、精神科医による心の健康相談、ひきこもりに関する相談窓口の啓発リーフレットの配布、障害福祉サービスの利用支援などがある。

ひきこもり支援は、日常生活の自立、社会生活の自立、経済的自立のた

め、当事者の状態や意向に応じた支援を適切に活用できる状況を整えることが重要である。

今後ひきこもり支援を行う関係機関との連携体制の構築に努め、個々のケースに合ったきめ細かな対応を行う。

家族支援も岡山県精神保健福祉センターに設置されている岡山県ひきこもり地域支援センターなど相談支援機関を紹介し、相談窓口につなぐ対応を行っている。

町は平成31年度に、健康増進計画の中間評価および見直し時期となっている心の健康づくりの分野で、ひきこもり支援に関する現状と課題につい



消防操法訓練大会開会式

仁科 英磨 議員



サギの葉書、犯罪者を捕まえて

町長／警察も本腰を入れて取り組んでいる

問

最近、全国で「消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」という詐欺の葉書が配られている。

①里庄町や近隣ではどの程度届き、どういう被害が起きているか。
②被害に遭わないための一番よい方法は。
③徹底的に取り締まり、犯罪者を捕まえてもらいたい。そのために全国ネットで警察に頑張ってもらう運動をして欲しい。町長の考えは。

①岡山県警の調べでは、特殊詐欺全体の被害は、昨年は191件、被害額は5億5千万円、今年前半は、46件、2億3千万円となっている。
里庄町は、ゼロ件。
②身に覚えのない請求には絶対にこちらから連絡しないこと。
困ったときは1人で悩まず、消費生活相談窓口や警察に相談すること。

町長

③警察も本腰を入れて取り組んでいる。
おかしいと思ったら遠

慮なく連絡いただくことが、また警察との連携も密にして、被害の未然防止につながる。

必要以上の発令は 狼少年になる

町長／早め早めに出した

問

①7月豪雨災害について、里庄町の雨量、気象予報報、被害の状況は。
②町の対応は。
③避難情報の各段階での避難者数は。
④避難準備、勧告、指示の、初めからの全町一律発令は、広過ぎたのでは。指示は、法律に基づき強制力がある。災害発生の可能性が高まったところから段階的に発令すべきだ。ピークでも73人避難しただけ。
タイミングも、範囲も、必要以上になると、狼少

年になってしまう。
普段から、災害の種類ごとにシミュレーションしておくべきでは。
⑤情報が行き渡っていない。制度、状況を問う。
⑥防災行政無線の導入、携帯電話やスマホの利用などを、あわせて研究しては。
⑦町内の降雨状況や被害状況等を、時々刻々リアルタイムで流せないか。

総務課長

①7月5日から4日間の累積雨量324mm。
5日19時13分に大雨警

報（土砂災害）、40分に同（浸水被害、洪水警報）、6日22時40分に大雨特別警報が発令された。
また、6日9時25分には、岡山県から土砂災害警戒情報が発令された。
②地域防災計画の基準に沿い災害対策本部を設置し、避難に関する発令、避難所の開設を行った。
また、里見排水機場のポンプを回す対応、各地での応急対応を実施。
③準備・高齢者避難開始情報時0人、避難勧告時9人、避難指示時73人。
④町内のどこで災害が発生してもおかしくない状況だったため。
⑤機能しなかったエリアメールは、その後接続。分館放送は、各分館長の判断に任せた。
⑥本年度中に方向性を出したい。
⑦非常に難しい。必要最低限の情報は伝達する。

ど36件被災。
公共土木施設は、69件。農産物の被害は、2件で、桃の倒木や法面崩落、土砂の流入等があった。

町長

④早目早目に出した。100mmで避難勧告した。
迫った危険を全て町が把握することはできない。今後も、できるだけ細やかにしたいと思うが、全町全域に出す可能性は高い。

その他の質問

特定工場の緑地確保比率の緩和について。
Qその根拠と内容は。
A生産性の向上、投資促進のため。
下限を20%から5%に
Q地方分権の流れの中で、何十年もかけてつくり上げてきたこの資産を放棄するのは、地方自治の自殺行為。経緯は。
A企業から要望があった。国や県の経緯は、答弁を用意していない。

違法を知っていたのか

町長／認識していなかった

問

里見川荘の医療法人への支払い

は、人件費と人事管理費を併せ委託料として支払っていた。人件費は働いている方への給与と、人を雇うための全ての経費、医療法人の事務員の3分の1の人件費が加わっていた。

人事管理費は100%利益であった。

医療法人が利益目的でスタッフを派遣すると医療法違反。スタッフを派遣会社から斡旋し派遣すると職業安定法違反。また、スタッフに併任辞令を出しているのも、町の職員定数条例にも違反している。

違反を知らなかったの

か、あるいはわかってやっていたのか。

町長

医療法人に部分的に委託する形で県から開設許可を受けた。法律に違反する状況とは認識していなかった。

平成25年12月議会では、人事管理費は人事管理に係る必要経費およびそれに伴う対価、利益を含んだ諸経費に当たる部分として、町と医療法人と協議の上、判断し決定したと答弁しているが、どの時点で認識していたのか、わからない。利益が違法であると承知した上で支払ったとは考えられない。職員定数条例について認識不足であり全く申し

問

違反と分かった時点で返しても

らうのが普通だ。契約書に経費は支払うが、利益を支払うとは記載がない。利益を払えば医療法違反。過去の事でも違法と分かれば対応しなければならぬ、どうするか。明確にわかったとき対処するのか。

町長

町は医療法人の監督省庁や機関

ではないので、医療法や職業安定法上の違法について調査を行わない。そういう事態になったときには十分考えたい。



岡本 雅道 議員

ため池保全管理計画進捗状況は

農林建設課参事／進んでいない

問

本町に320ミリ降った7月豪雨、ため池の土手を超え

るくらいの水位になった。6月議会ではため池の保全計画について質問したが、その後の進捗状況はどうか。

参事

農林建設課 豪雨災害の復旧作業を優先して

進んでいない。平成31年度中をめどに保全計画を立てたい。



干し柿作り。今年も美味しくなりますように。

高田 卓司 議員



危ないため池の改修はどうする

農林建設課長／保全計画をつくり対応

問

7月の豪雨により真備町で大きな被害が発生したが、里庄町においても数多くの被害が発生している。

里庄町では池の決壊が一番心配である。

① 県営ため池整備事業として、岩村の長田池（済）浜中南の皿池大池（設計中）本村の湯ノ池（これから）の3カ所を工事するが、2割の負担がある。今の財政状況では他のため池の同時改修は難しいので、状況把握のため一斉点検を行い個別のカルテを作るといことだったが、どの程度把握できているのか。

② 点検の結果、危ない池と大丈夫という池はいくつあるのか。

農林建設課 参考

① 89カ所の池の内、水を貯めていない池8カ所を除き81カ所を平成25、26年に一斉点検を行ってカルテを作っている。

② 笠岡観測所の記録で最

問

大雨量降ったと仮定して試算した場合、57カ所のため池で出ていく口の容量が不足しているという結果だった。

① 池の上流より余水吐の大きさが小さい池が57カ所もあるということとは急いで改修する必要がある。

池の上流よりの水が直接池に入らないように水路を造り、下流へ流すように考えてはどうか。

② 池の堤防が決壊したら、どの位に影響があるかを想定した、池のハザードマップが一応できているらしいが、アバウトではあるが浸水区域が入っている。

地元の関係ある分館に周知して打ち合わせるべきではないか。

農林建設課 課長

① 池を経由して下流へ出ていく池は少ないと思うが、必要ではない時は池を経由

しないで下流へ流れる形にできるだけするべきと考える。

しかし池には調整池として役割もあるので保全計画の中で、各分館、関係者と相談しながら計画していききたい。

② ハザードマップという形まではできていない。精度が余り細かくないので皆様には出していない。保全計画をたてる上で、今年中には各地区で話をするときに簡易氾濫解析の図面を持つていききたい。31年度中ぐらいに保全計画をまとめたい。

問

① 余水吐の大きさに比べて下流の水路が非常に狭い池が多いが設計時、あるいは施工時になぜ指摘しなかったのか。

やり直すとなれば工費の無駄遣いではないか。

② 池のハザードマップの中で避難場所が浸水区域にあるのは適切ではないのではないか。

農林建設課 課長

① そのような形の水路は確かにある。

危険度の高いものから順番に対応するとしかは答えられない。

総務課長

② 決壊の恐れがある場合適切と

は言えない。

避難所として開設する場合は池の状況をよく確認した上で、災害に応じた対応をしていきたい。



崩れたため池の堤防(古井地区)

JETへ切りかえの手順は

教育長／まだ言えないが変えていく

問

英語指導教師を数年かけてJETへ切りかえる検討をするということだったが、手順は。

今年何人切りかえ、来年何人切りかえていくと、具体的な考えは。

教育長

現時点では検討中で具体的にはまだ言えない。

民間からの派遣を少なくするの、ゼロにするのかも含め、変えていく方向で考えている。

※JETプログラム

語学指導を行う外国青年招致事業



熱心に見学(理化学研究所)

問

①中学生の派遣事業は、今後どのように見直していくのか。

か。

②理化学研究所の和光サイエンス合宿では高校生が夏休みの数日間、体験学習を行っている。

中学生を対象としたこの事業から高校生に変えていく考えは。

教委事務局

①具体的な見直しを決定したものは現在ない。今後、理科財団と相談しながら検討していきたい。

②理研には里庄町のために尽力いただいている。その強みを生かした事業を進めていきたい。中学生から高校生など、人選の枠を広げることは検討をしていきたい。



佐藤 耕三 議員

問

①自然災害を受ける都度、国の支援制度適用基準が広がっている。

今の時点で対象になっていないものも、県を通じて国に要望する考えは。

②台風12号のときは大雨が想定されていたにもかかわらず避難所の開設はできないか。

総務課長

①新たな補助制度の創設の要望は現在ないが、今後必要に応じ県を通じて相談していきたい。

②総雨量、台風の気圧、今後の進路を総合的に判断した結果。

③今年度中には一斉に分館長に情報伝達ができるよう検討し、方向性を出していきたい。

分館長だけでなく防災士、自主防災組織へも情報連絡がとれる体制づくりをしていきたい。

一斉放送できないか

総務課長／検討し方向性を出したい

仁科千鶴子 議員



補助金・助成金を出すのか

農林建設課長／個人負担、補助金は出さない

問

東西小学校のブロック塀の緊急の安全点検を実施し、耐震補強する。

① 学校以外の安全点検をしているのか。

② 「ブロック塀を点検しましょう」という回覧があったが、問い合わせはなかったか。

③ 点検の負担、補助金・助成金を出すのか。

農林建設課長

① 個人ブロック塀の点検を、町が今実施する予定はない。ホームページや全戸配布した点検チラシ等で周知した。

② 点検をどうしていいのかわからないと数件あった。

③ 個人負担となり、補助金を出す考えはない。

通学路等は、安全点検を実施し、危ないと感じたところは、個別にお願いし、安全確保のため様々な手法を検討する。

草刈り負担になる

農林建設課／対策方法は考えてみる

問

① 通学路の安全対策の推進は、誰がどの様になっているのか。

警察は入っているのか。

② 通学路の草刈りが高齢化していく中で負担になる。分館長頼みだと負担がかかる。行政からお願いの電話・チラシの配布という考えはないのか。その対策は。

教委事務局長

① 学校・農林建設・企画商工課と合同協議し、予算・事業計画を協議し、改善している。

警察の協力は検討したい。

② 土地所有者・分館・PTAにお願いし、協力してもらっているのが現状。対策方法は、提案もあり考えてみる。



今日も元気に登校中

新設を補正予算にする理由は

町長／環境を早く提供する必要がある

問

① 町立図書館内乳幼児室新設を9月補正予算に計上する理由は。

② 専用の新設の内容は。③ 衛生的なクッションフロアでなくカーペットタイルにした理由は。誰が管理するのか。

④ 耐震構造があると思うが、壁を挟んでトイレがあるので、両方からいけると便利だが、考えはないのか。

⑤ 図書室は静かに本を読む場所。その対策は。

町長

① 今年度当初予算編成で幼児、児童図書を充実し教育、子育てに関する施設環境の整備充実を推進したい。環境をできるだけ早く提供していくことが、必要であると考え、補正予算

に計上した。

教委事務局長

② 館長室を分割して設置する約35㎡、畳10枚程度のスペース。分割壁は木質、フロアは衛生面を考慮し、土足厳禁のカーペットを使用する。授乳コーナーを設置する。

③ 教育委員会として一番の工法を選んだ。図書館の職員が管理する。

④ すぐ外に、子ども用トイレがある事に着目していたので、考えていなかった。

⑤ 防音対策として、出入り口に扉があり、声など外に出にくい状態になっている。空調も完備、入り口付近に乳幼児トイレがある。利用方法は、室内へ掲示等して対策する。

地域の皆様に感謝

八ッの子供会

八ッの子供会は、保育園児三人、幼稚園児三人、小学校一年生から六年生までの十九人と合わせて二十五人、十九世帯で仲良く活動しています。

四月には歓迎会を兼ねたお楽しみ会、夏のラジオ体操、卒業する六年生との思い出作りのお別れ会等、一年を通して様々な行事が行われますが、特に十月に行われる秋祭りには地域の皆様と協力して行います。子供会では子ども達がお神輿をひいて分館内から日吉神社まで練り歩きます。神社で御祈禱を受けた後は公会堂へ戻り、ゲームをしたり、模擬店でおでんやジュースを購入したりと、地域の皆様と一緒に楽しめます。

また、今年の夏は分館

で集めたペットボトルキャップの寄託も行いました。分館の皆様と集めたペットボトルキャップは約八・七キログラムもあり、これらはボランティア団体を通じて発展途上国でのポリオワクチンの購入に役立てられるとのことでした。

そして、地域の皆様には、日々子ども達の安全に気を配っていただき、子ども一〇番の設置や安全パトロール等に協力していただいているおかげで安心して登下校することができています。資源回収等の学校行事にも御協力いただき、心より感謝申し上げますとともに、今後とも子ども達の成長を温かく見守ってくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



《第94号》

平成30年10月31日 発行

発行／岡山県 里庄町議会

〒719-0398

岡山県浅口郡里庄町

TEL(0865)64-7217

FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

●あとかき

風が冷たくなり、少しずつ冬のおとずれを感じる季節となりました。朝晩は寒さを感じることも多く、健康管理には気をつけたいものです。

さて、11月11日は「介護の日」というのをご

存知でしょうか。高齢化などにより介護を必要とする方が増加し、その課題も多様です。

介護を身近なものとしてとらえて、それぞれの立場で介護を考えてみてはいかがでしょうか。

(眞野)

編集委員

委員長：眞野博文 副委員長：仁科千鶴子 委員：小野光章 委員：佐藤耕三